

『iPS細胞を発見！山中伸弥物語』

著/上坂和美 PHP 研究所

iPS細胞を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥さんの伝記です。あきらめずに、ねばり強く生きることの大切さを教えてください。



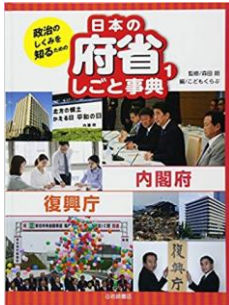
『政治のしくみを知るための日本の府省しごと事典』

監修/森田明 岩崎書店

①内閣府・復興庁

国家公務員って、どんな仕事をしているの？

わたしたちの暮らしを守る、府省の仕事を知ってみたい。くわしく見てみましょう。



『いくらかな？社会がみえるねだんのはなし4 スポーツと楽しみのねだん』

編/藤田千枝 大月書店

東京ドームはいくらで借りられる？打ち上げ花火は一発いくら？社会の中の色々な「いくらかな？」がわかる本です。



『すっきり解決！人見知り』

監修/名越康文 日本図書センター

はじめて会う人と話すのが苦手な「人見知り」。人見知りをする人とならない人は、どこにちがいがいるのかな？「人見知りの自分」が生まれるしくみを考えてみよう。



『髪がつなぐ物語』

著/別司芳子 文研出版

長くのばした自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」を知っていますか？

寄付された髪は、いねいに処理をされて、病気で髪の毛を失ってしまった人たちのために使われます。



下京図書館だより

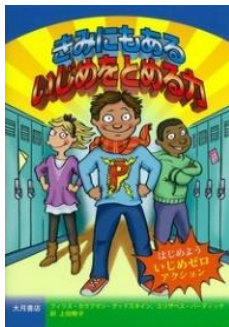
2018 夏

5年生
6年生

『きみにもある いじめをとめる力』

著/フィリス・カウフマン・グッドスタイン エリザベス・バーディック ほか 大月書店

いじめは、いじめられている子だけじゃなくて、いじめに気づいた子まで傷つける！この本を読むと、いじめられている子を助ける方法、いじめに立ち向かう方法がわかるよ！



『見学！日本の大企業 カルビー』

編さん/こどもくらぶ ほるぷ出版

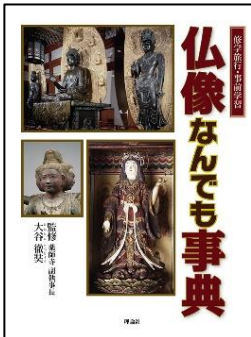
原子爆弾が広島に投下され、工場が焼けおちても、人びとに「健康的な食料を提供する」という信念をつらぬきつづけ、50年たった今でも日本一のスナック菓子メーカーとして、あゆみつづけているカルビーの歴史をみてみましょう。



『仏像なんでも事典』

監修/大谷徹夫 理論社

仏像ってだれが一番えらいの？仏像の指の形はどんな意味？みんなの色々な疑問に、お地蔵さまが答えてくれます。仏像に詳しくなると、修学旅行も楽しくなりますよ！



かがやく太陽、つめたいアイス、いよいよ楽しい夏休み！

いつもよりも長いお休みだからこそ読んでみよう！とチャレンジできる本や、みんなでたのしめる本など、いろいろなおもしろい本をご紹介します！

あつがあつい夏、すずしい図書館に来てくださーいね☆

『発表 スピーチに自信がつく！マンガ 敬語の使い方』

監修/青山由紀 ナツメ社

日本の美しい言葉として、大人になるまでに身につけておきたい敬語。マンガとイラストで楽しく学習できます。



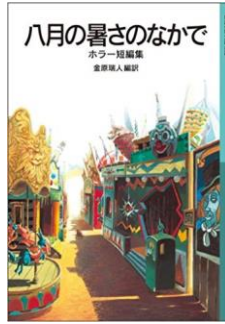
『二十一世紀に生きる君たちへ』

著/司馬遼太郎 世界文化社
 「人間ってどう生きるもの？」
 「これからどんな人になっていけばいいのかな？」歴史小説家 司馬遼太郎が、彼
 なのりの答えを聞かせてくれます。
 これからの21世紀を生きるみなさんにこそ読んでほしい本です。



『八月の暑さのなかでホラー短編集』

編訳/金原瑞人 岩波少年文庫
 「ん？ なんかおかしいな」と思いながら読んでみると、
 最後にちょっと奇妙な結末が待っている物語を集めた一冊。短い話が多いので、朝の読書にもぴったり。



『雨ふる本屋とうずまき天気』

作/日向理恵子 絵/吉田尚令 童心社
 できあがらなかった物語を並べたふしぎなお店「雨ふる本屋」。
 あるとき、ドードー鳥の店主が「絶滅かぜ」にかかってしまいます。
 その治し方を知っているのは、ふしぎな少女ただひとり……。
 お店のピンチに、ルウ子とサラの姉妹が立ち向かいます。



『ぼくとベルさん 友だちは発明王』

著/フィリップ・ロイ PHP 研究所
 読み書きが困難なため、家族でも学校でも浮いてしまっている少年エディ。発明家のベルさんと出会ったことで、エディは次第に自分自身の持つ可能性に気づいていく。人の気持ちを想像する助けになる希望に満ちた本。



『夏の庭 The Friends』

作/湯本香樹実 徳間書店
 六年生の夏、ぼくたちは死んだ人を見たかった——。
 お葬式をきっかけに「死」に興味を持った三人組。近所に住む今にも死にそうな一人暮らしのおじいさんを
 見張ることにした。年の差をこえた交流に、互いの気持ちにも変化が表れたところ……。



『魔法の声』

著/コルネーリア・フンケ WAVE 出版
 12歳の少女メギーはお父さんのモーが大好き。魔法の声を持つモーが本を読み上げると、物語の登場人物は生き生きと動き出し——そう、本当に命を吹きこまれるんだ！
 本から飛び出した悪者にさらわれたメギーは、登場人物たちの力をかりて悪に立ち向かいます。



『シェイクスピアっておもしろい！ こどものための夏の夜のゆめ』

著/ロイス・バーデット アートデイス
 互いに恋する四人の男女が、いたずら妖精のせいでそれぞれ別の相手に夢中?!
 妖精の女王や魔法でロバの頭になった劇団員までまき込んで？
 みんな本当の恋を見つけてめでたしめでたしをむかえられるかな？
 英語でも楽しめます！



『かかし』

著/ロバート・ウェストール 徳間書店
 やつらはやってくる。ぼくが憎しみを抱いたびに少しずつ。
 新しい父親のせいで家にも居場所がないサイモン。胸の内に悪魔を住まわせているように孤独で憎悪に満ちた彼の心をうつすように、
 邪悪なかかしが近づいてくる。



『ロビンソンの島、ひみつの島』

作/クラウド・コルドン 挿絵/ダグマール・ガイスラー 徳間書店
 美しくて広い湖のほとり、おろしたての水着、いい天気。だきしめちゃいたいほど気持ちいいすてきな夏休みの一日だ。ひとりぼっちでさえなけりゃ。
 退屈をもてあましたヨーはゴムボートで湖にこぎ出し、無人島で少年と少女に出会う。三人のひと夏を描いた物語。



下京図書館

〈場所〉
 下京区の新町通と松原通が交わることを南に少し行ったところ。
 修徳公園の北側にあります！
 〈あいている時間〉
 月・水～金曜日
 午前9時半～午後7時半
 土・日曜日
 午前9時半～午後5時
 (火曜日はおやすみ！)

